

第947回

## 臨時教育委員会会議録

日 時 令和7年8月26日（火） 16：30～

場 所 市民学習センター 多目的ホール（オンライン）

益田市教育委員会

## 第947回 教育委員会臨時会

招集年月日 令和7年8月26日（火） 16:30～

招集場所 市民学習センター 多目的ホール（オンライン）

議事日程

### 第1 議題

議第18号 令和7年度（令和6年度事業分）益田市教育委員会点検・評価報告書について

### 第2 その他

出席者

教育委員会

教 育 長	領 家 芳 明
教 育 委 員	齋 藤 哲 瑯
教 育 委 員	原 田 笑
教 育 委 員	山 本 ひとみ
教 育 委 員	森 脇 達 也

事務局職員

教 育 部 長	藤 本 美 香
教 育 総 務 課 長	齋 藤 勝 義
教 育 総 務 課 参 事	加 田 睦 志
学 校 教 育 課 長	田 原 正 紀
学 校 教 育 課 参 事	杉 原 貴 宏
ひ と づ くり 推 進 課 長	岡 崎 健 次
文 化 振 興 課 長	田 中 一 史
教 育 総 務 課 長 補 佐	植 田 拓 也
教 育 総 務 課 副 主 任 主 事	三 浦 菜 々 子

領家教育長

定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第947回益田市教育委員会臨時会を開催いたします。本日は、オンラインによる臨時会となっております。通信状況等によって会話の途中で途切れることなどがありましたら、あらかじめご了解いただきますとともに合図等を送っていただいで、こちらでも対応したいと思いますので、皆様方と、それから事務局と協力の上、対処していただきますようよろしくお願いいたします。それでは議事に入らせていただきます。

## 第1 議題

### 議第18号

#### 令和7年度（令和6年度事業分）益田市教育委員会点検・評価報告書について

領家教育長

それでは、これから議事日程第1議題に移らせていただきます。

本日の議題ですが、議事案件が1件となります。

それでは、議第18号令和7年度（令和6年度事業分）益田市教育委員会点検・評価報告書について事務局より説明を求めます。

齋藤課長

先ほど教育長からお話ありましたように、本日の議題としまして、前回の臨時会を7月に開かせていただきまして、外部評価委員会に委ねながら、また点検をいただくところでご説明をしました。

令和7年度（令和6年度事業分）の益田市教育委員会点検・評価報告書について、おおむね外部評価委員会、7月、8月のそれぞれ1回ずつ開催をいたしまして、外部評価委員会の委員の皆さんからのご指摘等もいただきながら修正をし、先般8月20日になりますが、2回目の点検・評価をいただきながら、最終的に修正したものが出来上がりましたので、本日は議題としまして皆さん方にご確認いただき、市民、また市議会にお出ししていこうというところの内容でございます。

それでは、資料の中にございますが、まず議案の一番頭のところを見ていただければと思います。4点にわたって記載をしておりますが、これを基にご説明したいと思います。

今回の点検・評価報告書、事前に点検・評価につきましてはお話をしていると思います。具体的に教育に関する大綱、それから令和6年度の施政方針、令和6年度の教育行政の取

組について、こういったところに盛り込む重点項目、これらの事業内容を踏まえまして点検・評価を行った状況です。

点検・評価の内容、これ第6次の益田市総合振興計画、これに基づく基本施策によって14の評価対象事業についての事業目標を立てまして、その実績を基に自己評価を行ったというところでは、重点項目として6つありますけれども、これも前回のところでご説明をさせていただきましたので、説明については割愛させていただきます。

その上で、2番目の評価結果の概要ですが、以前ご説明したときには、このA、B、Cの3つの評価に該当する部分について、それぞれA評価が3つ、B評価が7つ、C評価が4つという話でございました。外部評価の中で、もちろん事務局としても精査をした結果のところ、その内容が変わりまして、B評価が1つ増えてC評価が1つ減ったというところの詳細になったところでございます。これにつきましては、要は目標に掲げていたところに関しての評価の部分を段階に分ける際において、少し違いがございまして、これを整えました上で基本整理をした結果としてB評価に切り替わったというところでございます。ですので、先ほど言いましたAが3事業、Bが8事業、Cが3事業ということでの結果になったところでございます。

これを含めまして、3番目に外部評価の開催というところがあります。4人の委員さんからいろいろな意味合いで指摘事項等もいただきました。いただいた項目に当たっては、最初の会の中で令和6年度の事業に関する指摘事項を全部で28、追加で2回目のところで7ついただきましたので、全部で35の指摘事項をいただいたところです。これらにつきましては、各課に確認をしまして、各課からも調整をする中での修正したものが現時点で添付している点検・評価の内容になっているところでございます。併せまして、目標についてというところです。令和7年度目標というのは、今年度の事業の目標になるというところです。こちらにつきましても、やはり前回、またその前のところも含めまして、令和5年度のところまでの目標、そしてその実績、その評価、そういったところに関しての一覧表も資料として添付をした上で、これに対してのご意見をいただきながら、指摘事項として11の指摘事項をいただきまして、これらも各課に下ろした中で調整をいただいたという状況でございます。

今回につきましては、点検・評価報告書の中には修正したものととも各外部評価委員さんの意見書も載せたものが今回の資料となっております。

最後に、今後の対応でございます。今日の議決をいただきましたものにつきましては、教育委員会がまとめたということになりますので、9月に開催予定の市議会定例会総務文教委員会で報告をしてみたいと思います。あわせて、報告後につきましては、市のホームページに内容を掲載いたしまして、広く多くの皆さんに確認をいただきたいと思っていますところですので。説明については以上になります。

領家教育長

それでは、ただいまの説明を受けましてご質問等がありましたらお伺いしようと思います。手を挙げていただきまして、指名をいたしますので、そうしますとミュートを外してもらってご意見を述べていただいたり、ご質問等いただければと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。質問等は特によろしいでしょうか。

齋藤委員

重点項目の1番の評価対象事業②番、③番のところですか。②番が確かな学力の向上を目指した教育の推進とあります。③番が同じ文言がきて、その後に子どもの可能性を伸ばす、個別最適化の推進とありますが、②番と③番が同じ言葉が重なってきているので、③番は子どもの可能性を伸ばす個別最適化の推進というだけにしてもいいのではないのでしょうか。それが1つです。あわせて、今のところが少し意味がよく分からないですが、「個別最適化の推進」というのはどういうことを言いたいのでしょうか。

領家教育長

確認しますが、評価対象事業②番と③番の言葉が同じようなことについてどうだろうかということでしょうか。

齋藤委員

そうです。②番が確かな学力の向上を目指した教育の推進とあります。③番も同じ言葉を重ねて入れておいて、加えて子どもの可能性を伸ばす個別最適化の推進とあります。③番には②番の同じ言葉は要らないと思うのが1点。子どもの可能性を伸ばす個別最適化の推進でいいのではないかというのが1つですね。もう1つは、評価対象事業③と④に個別最適化の推進という言葉が使われているのですが、これどういうことを言っているのでしょうか。

齋藤課長

その言われました重点項目1の中における②番目は確かな学力の向上を目指した教育の推進、③番目については確かな学力の向上を目指した教育の推進と子どもの可能性を伸ばす

個別最適化の推進、④番目に子どもの可能性を伸ばす個別最適化の推進（いじめ未然防止の組織的な取組）という表現についてという話になりますね。

齋藤委員  
齋藤課長

そうです。

はい。そういたしますと、表現上はこういう表現での事業という名称にはなっておりますが、例えば令和6年度の事業評価シートを見ていただければうれしいと思います。事業別の点検・評価シート、資料1になります。資料1の中の、先ほど言われた評価事業番号が②番、③番、④番と振られています。具体的な施策の名称はそういう名称ですが、施策内容が違います。表現、具体的な施策名は一緒に見えるかもしれませんが、施策の内容としてはそれぞれが違った観点のものを打ち出しています。ですので、ここにとらわれることなく、この評価シートの中における施策内容に基づいて目標事業を立てて、昨年の段階でこれについては皆確認をしておりますので、これに基づいて取り組んだ事項について評価し、これについての点検をいただいた状況です。そのため、こちら辺につきましては、表現はこうあるかもしれませんが、具体内容としては少し内容とそれぞれが違うということの意識の中で整理をさせていただければと思っています。説明は以上になります。

齋藤委員

それからもう一つ、「個別最適化の推進」という言葉を使っていますが、もっと分かりやすい別の言い方はないのでしょうか。

杉原参事

個別最適化の学びというところでございますが、評価対象事業目標1番のICT機器の活用というところで、子ども自身の学びの仕方というのは様々であります。ゴールは1つではあるけれども、子どもが探求する方法であるとか、調べる、例えばペアでやりたい子もいれば1人で黙々とやりたい子に合わせた学習を進めているというところから、評価対象事業目標2番の保幼小、幼小連携のところですが、今、幼の教育、保育の方針がこどもまんなかというところで、子ども自身の気づきだったり発想だったり学びを広げていく、いわゆる子ども一人一人の学びが学習につながるというところを滑らかに連携するというところを取り組んでおりますので、そういった意味で個別最適化と名づけております。以上です。

齋藤委員

これは前から、最適化という言葉を使っていましたか。

齋藤課長  
領家教育長

はい。

新しい学習指導要領になった時に文部科学省がこれをキャッチフレーズにしようとして推し進めた言葉です。

齋藤委員

その指導要領では、この個別最適化という言葉を使っていますか。

杉原参事

昨年度もこういった文言で書かせていただいております。

齋藤委員

はい。分かりました。以上です。

領家教育長

ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

森脇委員

読ませていただいて、特に私が評価としてよかったなと思ったのが、山城サミットが、多くの方のご協力の下、成功したという表現で多分いいと思うのですが、多数の方に参加いただいたというのは非常に大きかったと思います。担当課、大変ご苦労は大変大きかったと思いますが、いろいろな課が絡んで、学校教育では地域学習を推進した結果だと思えますし、社会教育分野では公民館の方のいろいろご協力もあったと思います。

それから、行政部局では地域住民の方にいろいろボランティアで参加していただくことがあって、本当にオール益田というか、そういう形でできたいい成果だったのではないかと私は思いますので、評価がAまでしかないのに、Sぐらいあってもいいのではないかと個人的には思いました。本当にいい形で令和6年度のこの山城サミットが、みんなの力でできたと感じました。以上です。

田中課長

令和6年度、大変皆さんに協力していただいて、1つの目標に向けて様々な担当課の方も協力していただいて、よい企画だったと思っております。ただ、これをまた令和7年度と引き継いでいくということは、またこれから一つ大変だなと思っています。あと、なかなかこういう目標に向かって市として一丸となって進むというのは本当にできないことだな、今更ながらですが感じるところでございます。何とかして頑張っていきたいと思っております。

領家教育長

ありがとうございます。ご質問等なければ、森脇委員のようなご感想とかお感じになられたことをご発言いただいても結構です。他の委員の皆様方いかがでしょうか。

齋藤委員

社会教育施設、公民館とか図書館の利用率がコロナ前から2割ぐらい利用者数が減少していたこととその復活に力をこれから入れないといけないという説明がありましたが、具体的にどのような方策で利用率を増加しようという考え方があ

るのか、事務局のお考えを伺いたいです。

領家教育長

ありがとうございました。外部評価委員の志々田委員の感想、このたびのコロナ前と、それから現在の比較等のご感想もありましたので、岡崎課長、ありましたらお願いします。

岡崎課長

図書館につきましては、利用者アンケートを取っています。その中ではやはりヘビーユーザーの方は小説等の新刊等が特に気になるという回答が多いです。これは具体的なクロス集計というよりも、全体のところが少し一定程度高齢の方々の声が多く反映されているので、利用される方の年齢層を見てもそういった方が多いですが、一方では若者の意見も聞いてほしいという図書委員の声もあったりして、新たに、今まではヒアリングで直接聞いていましたが、QRコードを使いながらスマホで簡単に声が聞ける形のものも、新たな若者をターゲットにして、声を聞くようなことをしておりますので、そういったものを取り込んで、具体的に足を運んでもらえるようなヒントにならないかと思い、声の聞き方を工夫しながら取り組んでおります。今まで取り組んでいるスペシャルおはなし会等のいろいろなイベントは継続していこうと思っております。

体育施設については、多少伸びつつある状況にもなっております。こちらも指定管理者の方々に大変にご努力いただいております。そこと加えてスポーツを推進する施設と個人をつなぐ中間支援組織であるスポーツ協会の企画にもしっかり力を入れていただくために、今後はスポーツを下支えする仕組みに対して、もっと力を入れていきたいと思っております。機会をいかに創出していくかというところを工夫していきたいと思っております。

これは、部活動の地域移行の観点からもそういったスポーツの受皿づくりというのが求められていますので、両輪になってこれもやっていきたいと考えております。以上です。

領家教育長

そのほか、委員の皆さん、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、皆さん方もよろしいようですので、この件につきましては採決に移らせていただきたいと思います。本件につきましては、令和7年度（令和6年度事業分）益田市教育委員会点検・評価報告書について原案のとおり賛成の方は挙手をお願いしたいと思います。

教育委員

=挙手全員=

領家教育長

ありがとうございます。挙手全員ですので、本件は承認され

ました。では、事務局は必要な手続を進めてください。本日  
予定しておりました議事は全て終了いたしました。これをも  
ちまして第947回益田市教育委員会臨時会を終了させてい  
ただきます。本日はありがとうございました。

= 終了時間 17時00分 =